



みさき

25号

美咲町議会だより

主な内容

これでいいのか、議会のあり方

議会改革特別委員会の視察報告

6 7

災害防止関連への質問が集中

議員11人が一般質問

8 18

議会の傍聴を終えて

町民から多数の意見

20

6月 定例会 の報告

6月13日から23日まで

定例会が招集され、23年度一般会計補正予算など予算6件、条例3件、専決処分1件、その他3件の議案が上程された。

条例の制定

条例の制定が上程され、審議の結果、全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎福祉巡回バスの設置及び管理運行に関する条例

現在の福祉巡回バスは各地域の状況を見ながら試験的に運用しているが、それぞれの巡回路線が概ね定着したため正式に公の施設としての運営を行うべく

専決処分

条例を制定する。

専決処分が上程され、審議の結果、全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎23年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
前年度繰り上げ充入金三千三十万円を今年度予算に計上する。

人事案件

副町長の選任が上程され、審議の結果全会一致で承認した。任期は平成23年7月1日から4年間
副町長 岡部初江氏(原田)



その他案件

工事請負契約案が上程され、審議の結果、全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎工事請負契約の変更
◇中央中学校新築工事
蜂谷工業(岡山市)
太陽光発電(10kw)
の設置に伴い契約内容に変更が生じたため、契約金額を十一億七千六百二十六万三千円に変更する。

◎工事請負契約の締結
◇柵原総合支所移転改修1工区工事
浮田建設(津山市)
柵戸板組(美咲町)
特定建設工事共同企業体
柵原総合支所を柵原文化センター内へ移転するための改修工事を九千四百五十万円で契約する。

◎工事請負契約の締結

◇みち停新築工事
浮田建設(津山市)
株式会社アサヒ防災工事(美咲町) 特定建設工事共同企業体

旭総合支所となりにみち停を新築するため、の工事を五千五百九十六万五千円で契約する。

農業委員の議会推薦を決定

7月4日に臨時議会を開催し、任期満了となる農業委員会委員の内、議会推薦とする委員4人を決定した。

農業委員

高山晴男氏(百々)

農業委員

直本節子氏(越尾)



農業委員

杉山正志氏(上口)

農業委員

赤松文枝氏(原田)



請願・要望

敬称は省略させていただきます。

技術者等の配置基準の緩和等についての要望

「産業建設常任委員会付託」

久米郡建設業協会
代表理事

浅津真悟
要望の内容についてはすでに町執行部で対応されているものもあるため、全会一致で**趣旨採択**とした。

教科書採択に関する請願

（紹介議員：日神山定茂）

「民生教育常任委員会付託」

日本会議
岡山津山支部

支部長 岡 孝治
趣旨は理解できるが、教科書に関しては

◆ 討論

柵原第2分団第1部消防機庫新築移転に関する請願に対する討論

松田英二議員

この請願は、老朽化し手狭となった消防機庫の建替えに際して民間の用地および建物を新たに購入して防災公園も含めた施設を整備するという内容である。周辺に使用可能な公共用地があるのに新たな用地を購入することには賛同できないが、本来の目的である消防機庫の建替えについては採択すべきもの

柵原第2分団第1部消防機庫新築移転に関する請願

（紹介議員：金谷高子）

美咲町消防団

柵原第2分団第1部

部長 米本 茂世

現状においては消防団、地元地区などと細部にわたる調整ができていない。今後の進展に期待し、賛成少数で**不採択**とした。

貝阿彌幸善議員

消防機庫の改築は消防団機構内部において詳細に検討されるべきものである。今後の進展に期待しつつ、今回は不採択が妥当と思われる。

| | |
|-------|----|
| 金谷議員 | 賛成 |
| 松田議員 | 賛成 |
| 江原議員 | 反対 |
| 林田議員 | 反対 |
| 岩野議員 | 反対 |
| 染山議員 | 反対 |
| 角南議員 | 反対 |
| 山本議員 | 反対 |
| 小島議員 | 反対 |
| 草苺議員 | 反対 |
| 松島議員 | 反対 |
| 日神山議員 | 反対 |
| 岡田議員 | 反対 |
| 下山議員 | 反対 |
| 貝阿彌議員 | 反対 |

◆ 議会としては、消防機庫建替えに異論はないが、請願の原案に対する採決の結果、賛成少数で不採択とした。

議員発議

拡大生産者責任（EPR）とデポジット制度の法制化を求める意見書

生産者が使用済み製品の回収・資源化に責任を持つ拡大生産者責任と、包装容器などを返却することで容器代が返却されるデポジット制度の法制化を図り、ゴミ排出量の抑制、リサイクルの促進、再資源化を強力に進めること。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。



大量生産・大量廃棄は見直してリサイクルの促進を

常任委員会報告

平成23年度一般会計・特別会計補正予算を各常任委員会で審査した結果、全会一致で承認した。

総務 みさきネットの 維持管理には基金 積み立てが必要

◎一般会計補正予算

歳入歳出に五千三十一万円を増額し、総額を百十億九千五百二十四万円とするもの。

【主な歳入】

☆県支出金

三百六十四万円

☆繰越金

四千三百九万円

☆諸収入

三百万円

【主な歳出】

★男女共同参画推進費

二百二十九万円

◎特別会計補正予算

◇みさきネット事業特

別会計

★管理委託料

五百三十九万円減

★機器購入費

五百八十八万円

■主な質疑応答

【総務課】

問 22年度予算を本年度に繰り越した事業の進捗状況は。

答 旭地域道路設
計、支所庁舎整備
工事、防火水槽整備な
ど順調に進んでいる。
本年度末までにはすべ
て完了させる。

【企画財政課】

問 提案型協働のま
ちづくり事業への
応募状況はどうか。

答 本年度分として
3件の応募があつ
た。

問 緊急雇用は今後
どうするのか。

答 国からの補助金
は23年度で終了す
るが、みさきネットは
単町費で継続したい。

【情報交通課】

問 みさきネットへ
の基金積み立ては
どうする。

答 サーバーなどの
更新費用に数千万
円の費用を要する。基
金条例など早急に対処
する。

問 巡回バスの経路
を細かくして便利
性を高められないか。

答 バスの台数にも
限りがあるため、
綿密な巡回は困難であ
る。



地上デジタルへの移行が必要が高まるみさきネット

民生教育

減額を予定していた
育児支援手当は
現状を維持

【主な歳出】

★柵原地域保育園建設
事業費

三十七万円

★育児支援手当

千八百四十万円

★がん検診推進事業費

四百六十二万円

★総合体育館運営費

百三十一万円

■主な質疑応答

【住民課】

問 柵原地域の保育
園建設について、
専門家を含む検討委員
会は開催しないのか。

答 選定委員会で決
めた設計案を基
に、検討委員会で協議
してもらう。



改修された美咲町営火葬場の現地を確認する委員
(原田)

【生涯学習課】

【問】 保育園での英語指導の内容は。

【答】 町内の各保育園に24回ずつ、年間120回指導に行く。

【教育総務課】

【問】 小・中学校の二期制を検証する教育審議会を開催する

とのことだが、その審議会には議員が入る必要はないのではないか。

【答】 教育審議会は約20人で開催する予定。委員の構成は条例で定められているため、議員も3人程度入ってもらう。

【産業観光課】

【問】 特産物の振興策として米袋の配布を予定しているが、何枚製作するのか。

【答】 5kg用と10kg用を各五千枚、合計一万枚の製作を予定している。

【問】 システム化事業補助金三百五十万円

とはどのような内容か。

【答】 百々・西井和の営農組合へコンバイン、トラクターを導入するための補助金。

【現地を確認】

6月17日、柵原公共下水道汚水処理場および旭地域「みち停」の建設工事状況を視察した。

産業建設 集落営農組織に コンバインなどの 導入を実施

【主な歳出】

★土地改良など事業費 千三百二十万円

★町道改良事業費 六百五十万円

◎特別会計補正予算

◆中央簡易水道事業特別会計

★維持補修費 千九百二十一万円

◆中央公共下水道事業特別会計

★維持補修費

二百万円

柵原公共下水道事業、三休公園事業特別会計は、予算の組替などによる軽微な増減。

【主な質疑応答】

【上下水道環境課】

【問】 柵原地区公共下水道の加入状況と

工事の進捗率は。

【答】 工事が完了した吉ヶ原地区の加入



完成した下水道処理場を現地確認する委員（吉ヶ原）

臨時議会の報告

4月25日開催の臨時議会において、震災の炊き出し支援隊活動についての調査を行う特別委員会（百条調査特別委員会）の設置を賛成多数で承認した。

7月4日に臨時議会を開催し、23年度一般会計に千六十一万円を追加する補正予算および条例改正が提案され、審議の結果、全会一致で承認した。

主なものは次の通り

◆一般会計補正予算（第2号）

★庁舎臨時管理費 百六十九万円

★土地改良等整備事業（第一分庁舎増築） 千七十八万円

★消防施設費（農道舗装ほか） 四百三十五万円減

（用地購入費減額ほか）

◆条例の改正

◎美咲町柵原学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例

美咲町中央学校給食共同調理場を追加し、名称を美咲町学校給食共同調理場条例に変更する。

※調査委員会はこれまでに11回開催し、近く取りまとめを行う予定。

震災の炊き出し支援隊活動についての調査特別委員会

◎委員長 ○副委員長

◎貝阿彌幸善

○岡田 壽

岩野 正則

染山 朝子

草苺 良明

下山 和由

三船 勝之

議会のあり方

住民に開かれた議会への議論をスタートさせました。
を視察しました。

美咲町議会改革特別委員会の報告

町の改革は議会の改革から (鳥取県北栄町議会)

◆住民のための改革で なければならぬ

鳥取県北栄町は、旧北条町と旧大栄町が合併して平成17年に誕生した町で、人口は1万6000人と美咲町とほぼ同じである。

北栄町議会が議会改革に乗り出した元々の発端は、財政再建団体となった北海道夕張市と議会基本条例制定の先駆者である北海道栗山町議会の視察を行ったことに始まる。

★執行部と議会の間になれ合いによる癒着はなかったのか。

★議会の役割・責務が果たせていたのか。

★住民の意思が政治に反映されていたのか。

これらの反省点をふまえて住民に信頼される議会となるための改革として議会基本条例

の制定が決議され、調査特別委員会を設置して22回の委員会で詳細を煮詰め、アンケートと意見交換会による住民の意見を付して、平成21年4月議会最高規範となる基本条例が施行された。主な特徴は

①質疑・討論などは本会議場における議論を基本とする。
②公平・公正の観点から全ての会議を原則公開とする。
③議会広報活動を充実させる。
④町長などの反問権を付与する。
⑤町民・団体との意見交換会を実施する。
⑥議員相互間の自由闊達な討議を推進する。 など

◆条例制定に伴う住民参加

議会基本条例案が策定された段階で住民の意見を聴取するために二つの方法がとられている。

- ① 条例案及び議員定数・報酬に関する住民アンケートを全戸配布
- ② 町内2地区で開催した住民との意見交換会

アンケート回収率・意見交換会参加率の低調に難点があるものの、結果として議員定数を3人削減して15人にし、議員報酬5%削減が決定された。

◆住民に対する広報活動

条例制定後、住民に対する積極的な広報活動を行うために三つの方法がとられている。

- ① インターネット配信による議会の生中継。
- ② 広報特別委員会を

常任委員会に変更し、議会だよりの刷新・強化。

③ 町内3カ所での住民報告会を6回開催。

各常任委員会に所属する議員が5人ずつ3班に分かれて各開催地へ赴き、活動内容の報告と質疑応答を行う。難点は参加人数が少な

いということ。

◆今後の方向性

議会の運営上課題となるものについては全員で協議する。

- ① 政務調査費の検討。
- ② まちづくり・行財政改革に対する政策立案と提案。
- ③ 議長による議会招集権。
- ④ 事務局の体制づくり



特産物のスイカとマラソンでまちづくりを進める北栄町

これでいいのか

議会や議員はどうあるべきかが問われる中、美咲町議会においては議会改革特別委員会を設置し議会改革の調査・研究を行うため、平成23年5月10日に鳥取県北栄町議会・鳥取県若桜町議会

り。当面は3人体制を維持。
⑤町長などによる反

問権の適正化。
⑥基本条例の4年ごとの見直し。

住民参加の議会改革

(鳥取県若桜町議会)

◆継続する議会改革

鳥取県若桜町は、鳥取県南東部に位置し兵庫県と岡山県に接する町で人口は約4000人。合併しない単独町村を選択している。

5年前まで議員定数14人であったが、平成18年には早々に4人の定数削減と10%の報酬削減に踏み切り、現在は10人の議員で活動している。平成20年には議長提案で議会基本条例の制定が提案され、議会運営委員会が中心となって協議・検討された内容に沿って平成21年9月基本条例が施行された。
大きな特徴としてあげられるのは



蒸気機関車で観光振興のまちづくりを進める若桜町

①議会報告会の実施
②議会政策討論会の実施

◆きめの細かい広報活動

条例制定後、住民に対する積極的な広報活動を行うために三つの方法がとられている。

①インターネット配信による議会の生中継。
②議会だよりの刷新・強化。

③町内37カ所での議会報告会を年1回開催。(3月定例会の後)

住民への報告会は議員が3人ずつ3班に分かれて各開催地へ赴き、活動内容の報告と質疑応答を行う。

3年間で全議員が町内各地区を一巡する方法が取られている。課題は、要望合戦になることが多いということ。

※各集落を単位とした報告会であり、多くの町民が参加している。

※報告会の内容は議会だよりに特集号として発刊されている。

◆議会政策討論会の実施

議員相互間の自由闊達な討議を推進するため政策討論会の実施が定められている。議会報告会で出された住民からの提案、議員個人からの提案などについて議員全員で討論会を

行うもので、座長には議会運営委員長が就任する。

しかし、要綱の策定はできているものの現時点で開催されていない。

☑研修を終えて

これまで、美咲町議会もみさきテレビ・告知放送での議会生中継、議会だよりの充実など開かれた議会に向けて努力してきたが、今回の視察を通して、議員の資質向上への研さん・信頼される議会へのさらなる努力の必要性を痛感した。

これより、議場における一般質問・質疑・討論の活発化、委員会協議の充実、議員間の闊達な討議の促進などを盛り込んだ美咲町議会基本条例を制定し、さらに開かれた議会を目指さなければならぬ。

問

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

幼児期からの

英語力強化を

まず英語に慣れる

環境を整える

答弁



草苺良明 議員

問

日本の企業において英語の重要性を考え※「TOEIC」

の成績優秀者でないとい入社試験が受けられない状況がある。町内の保育園では本年度から年長組の子どもたちに英語を学ばせる方針と聞いている。

将来に向けて子どもたちが英語に親しめるような取り組みはできているか。

また英語圏との国際交流についてその後の状況はどうなっているか。

のか。

※TOEICとは国際コミュニケーション英語能力テストの略。英語によるコミュニケーションシヨン能力を測定するための試験。



英語の勉強はたのしいよ！（柵原東保育園）

答

定本町長

世界共通語は英語であり将来の就職に

対して非常に重要になってくると考えている。

本年度から保育園年長組に月2回英語に慣れる授業を取り入れて

いる。ビデオ・絵本・ダンスなど遊びの中で

なじんでくれると考え

ている。今後様子を見て週1回に増やしたい。

英語圏との交流は、相手国の都市と話を進

めているところである。

本町の自然

エネルギー推進は

問

政府は、日本の電力需要の50%を

将来原子力発電でまかなうとしている。今回

の東日本大震災・津波・原発事故の影響に

より、エネルギー政策の見直しの方向という

見解である。本町の自然エネルギー推進策はどのよう

に考えているのか。

答

赤堀上下水道環境課長

22年度に策定した美

咲町新エネルギービジョンを基に、自然エネルギーとして太陽光発

電と森林バイオマスを、今後の導入に向け

重点的に検討していく。この方針に沿って

推進していく。

県のメガソーラー誘致はどうなっているか。

答

赤堀上下水道環境課長

県が選定したメガソーラー誘致候補地に対して企業から問い合わせが70件あったが、日

照時間、立地条件などにより本町の候補地への問い合わせはなかつ

た。

答

定本町長

今後とも積極的な企業誘致に努力する。

駐輪場への

防犯カメラ設置は

問

柵原中学校で侵入事件などが発生

した。犯罪防止の観点から自転車置き場に防

犯カメラの設置はできないか。

答

泉教育長

現在柵原中学校には4台の防犯カメラを設置している。自転車置き場にも設置する方向で進めている。

町政を

質問

防災・災害対策は

万全か

地域防災計画に

沿って対応する

答弁



下山和由 議員

問

本町は過去に台風10号災害で甚大な被害を受けたが、今度の東日本大震災を教訓に非常時に向けての対策はできているのか。

答

難波総務課長
災害時の初動態勢はマニュアル及び地域防災計画によって対応することになっている。また防災カメラによる映像を通して吉井川の水位状況も確認している。

問

小河川の改修工事など地域内で集

中豪雨による内水対策は実現していないが対策は。

答

定本町長
柵原地内吉井川の内水対策は各地区においてしゅんせつ工事などの要望を国・県にしている。

問

中央地区の榎本川への集中豪雨による氾濫で商店街も浸水したと聞くが対策は。

答

池本建設課長
現在、皿川のしゅんせつ工事を順次行っており、榎本川の水がスムーズに流れるような対策を考えていく。

中央中学校建設に

影響はないか

問

東日本大震災の影響により、中央中学校の完成時期が計画より遅れるとのことだが、24年4月開校に間に合うのか。

答

泉教育長
震災直後から

ニヤやボード類、防火扉、シャッター部品などの納入が遅れた。また、太陽光発電の追加発注を行った関係から約2カ月の工期遅れが生じている。現在のところ益明けには完成検査を受けるよう進んでいる。

問

いつ頃から校舎が使えるのか。

答

泉教育長
安全性も考慮運動会の後に新校舎に入れるよう調整している。今後は旧校舎の解体・グラウンド整備を進め、予定通り本年度末に完成できるものと思っている。

コミュニティ

ハウス周辺整備に

補助金を

問

地域では高齢化によってコミュニティ施設の管理、特に草取りなどに困っている。周辺を舗装することによって管理しやすくなる。

内装工事などと同様に周辺舗装についても補助金の対象となるよう強く望む。

答

定本町長
今後調整していく中で補助金については考えていきたい。



完成に向け工事が進む中央中学校

質問 子どもたちの安全に一層の努力を

あらゆる角度から 対策を進める

答 弁

防災で安全・ 安心な町づくりを



角南憲一 議員

問 県道津山柵原線吉ヶ原～飯岡間の

柵原地域の民家のない所に柵原中学校の駐輪場から学校へ上がる歩道など90基を教育委員会が直接管理している。

答 中西柵原総合支所長

津山柵原線の改良工事は完了しているため柵原地域の移設は非常に難しい。

答 定本町長

危険な箇所である認識は持っているのですが、完成した下水道処

理場に防犯灯だけの電柱を建てて対応することを協議している。

問 通学路の防犯灯は教育委員会ですら管理しているのか。

答 桑元教育総務課長

柵原地域では学校周辺の民家のない所に柵原中学校の駐輪場から学校へ上がる歩道など90基を教育委員会が直接管理している。

問 8人の子どもの命が奪われた池田小学校の児童殺傷事件から10年が経過した。忘れ去ることなく安全対策に一層の努力を。

答 泉教育長

万一の場合に役立つように音と光を発

する器具を配布する予定。また可能な限り立木の伐採、排水路の清掃、草刈なども進めている。

問 防災計画の見直しを行う予定はあるのか。

答 定本町長

大震災の教訓を生かし、想定外の災害が起こることを考慮して防災計画の見直しを行いたい。国・県との整合性も必要であり、県の見直しが終わってから着手したい。

問 吉井川水系の治水対策はどのよう

答 池本建設課長

吉井川水系改修工事は周佐下工区が本年度完了、連石工区は24年度完了予定である。栗子橋の架け替え工事も予定されている。王子地内の道路改良



過去の試練を教訓に万全な災害対策を（平成10年災害）

工事は24年度舗装工事に着手。26年度から飯岡地区と高下地区に内水対策として排水ポンプを設置する予定。

問 老人ホーム吉井川荘の入所者はどう避難するのか。

答 定本町長

地域の意見を取り入れた対応をしたい。

問 来春閉校する弓削高校跡地を防災ヘリの駐機場にしてはどうか。この場所は岡山県を中心に位置し適地と思われるが。

答 定本町長

久米南町とも協議した上で実現に向けて努力したい。

町独自の 被災地支援は 県の要請に基づき 支援する

答弁



松島 啓 議員

問

東日本大震災の被災地復旧・復興に向け、日本全体に支援の輪が広がっている。本町からも県が窓口となり義援金、支援物資、職員派遣などを行っている。

答

①今後、町独自の支援策は考えていないか。
②本町の地域防災計画は、どのくらいの規模の災害を想定しているのか。計画の見直しは。
③非常時のために、最低限の物資・食料・水などを主要な避難所に在庫備蓄するべきでは。

定本町長

①今の段階では町独自に動くとは混乱するので、県の要請に基づき支援していく。現在は保健師の派遣を行っている。

答

③食料・水の備蓄は、衛生面、消費期限などの問題があり、現在は商店などからの流通備蓄としている。それが確保できない場合は、県に要請すると定めている。

答

②災害の想定は、風水害では過去に起きた最大級の台風など。地震は大原断層の震度5強。地域防災計画は見直しを行う。

みさきテレビの 利用料を月額 500円に

問

①みさきケーブルテレビへの加入率は。

②その日のニュースは、その日のうちに放送できないか。また、お悔やみのお知らせを字幕放送できないか。

真庭市、美作市は行っている。

③福祉サービスの充実

答

③本年度一般会計から約五千万円繰り入れしており今後、機器の保守管理、更新で多額の経費が必要である。現在の1000円を維持したい。

答

①ケーブルテレビへの加入は3315件、加入率55%で徐々に増加してきている。

総合支援モデル 事業実施体制の 強化を

問

県からの提案で、久米南町とともにを行う地域生活総合



みさきテレビの心臓部 更新費用に数千万円！

答

支援モデル事業。全国初の取り組みである中山間地域の買い物支援、安否確認、交通手段の確保など日常生活を支え、多くの分野で社会貢献でき、ソーシャルビジネスにもつながる。

答

遠藤企画財政課長 本年度は、限界集落約二千戸を対象に、生活支援に関するニーズ調査を2回行う。その結果を受けて、来年度から事業開始する予定である。

答

定本町長

町がすでに取り組んでいる安心生活創造事業と合わせて行っていく。

質問

自主防災組織設立は
進んでいるか

町内では25団体が設立、
呼びかけを強化

答弁



金谷高子 議員

問 3月11日未曾有の大地震が東日本を襲った。今回の被害を受けた地域は巨大地震が高い確率で発生することがわかっていた地域であった。地域では避難訓練などできる限りの備えをしていたと思うが、想定を超える地震、津波によって大きな被害となった。

答 ①大震災を教訓に、本町の自主防災組織体制確立が必要ではないか。②現在、自主防災組織の活動をしている地域の数は。③防災マップの中に浸水想定区域がある。平成10年の台風で、この区域にある柵原総合支所も浸水している。その場所に新しく保育園建設を計画しているが想定外の雨量で浸水したかどうか。

答 定本町長 ①地域の防災計画を町全体で見直すと同時に、各地域で本町の防災組織としてつくっていただければと思っています。消防団員の方々の積

極的な活動を自主防災組織の中に組み込んでいただきたい。

難波総務課長

答 ②町内では25団体の自主防災組織が設立されている。

中央2地区と女性防火クラブ。旭全16地区。柵原6地区と女性防火クラブ(百々)である。

定本町長

答 ③内水対策として排水ポンプを設置してくみ出していく。苦田ダムの成果も幾分かはあると思う。川の氾濫に対しては1〜2時間前にはわかっているので早急に避難誘導をしていけば対応できると考える。

観光資源の

有効活用に全力を

問

緊急雇用で観光資源の調査員を一人受け入れているが、どのような調査をしているか。

答

緊急雇用で観光資源の調査員を一人受け入れているが、どのような調査をしているか。

答 菅尾生涯学習課長 平成8年4月に

答

矢木産業観光課長 町内の観光名所、観光施設、年間行事、地域の祭りなどの調査を行う。観光客に対するアンケートなども実施している。

問 観光資源として本町にはすばらしい「さつき天文台」がある。利用状況はどのようになっているのか。

答 菅尾生涯学習課長 平成8年4月に



わたしたちが作った安全マップだよ～(周佐地区)

質問

移動手段の確保・
育成は重要な課題

民業圧迫の観点から
非常に難しい

答弁



松田英二 議員

問

昨年から今年にかけて町内で運営していた福祉有償運送・J Aタクシーが相次いで廃業となった。このため、高齢者など「移動に制約のある人」の移動手段確保がますます難しい状況になっている。

今、町が運営している福祉巡回バスの状況

※福祉有償運送とは

NPO法人などがタクシー料金の半額程度で運んでくれるドアからドアへの個別輸送。

答

鈴木情報交通課長

旭地域10路線で一日約30人、中央地域10路線で一日約33人、柵原地域16路線で一日約11人がそれぞれ利用している。

問

周辺市町で組織する地域運送協議会とはどのような団体なのか。

答

福田保健福祉課長

福祉有償運送事業者への新規許可および再認可を協議する団体で、津山市、鏡野町、美咲町、久米南町の4市町で組織している。

問

介護保険による高齢者のケアプランには、移動手段を確保するための介護タク

シーを利用するプランは入っているのか。

答

村島健康増進課長

ケアプランの中に移動手段確保のプランは入らない。必要な場合は一般のタクシーを利用している。

問

介護保険の方針とされている在宅介護・介護予防を進めていくにはドア・ツリー・ドアを基本とする介護タクシー・福祉有償運送などの確保・育成を図っていく必要性

答

定本町長

が高まると思うが、町の考えはどうか。

介護予防を主流

に考えていかなければならないが、民業圧迫の観点から非常に難しい問題である。デマンド交通の研究も一つの課題だと考える。

問

東日本大震災の影響で省エネルギー

LED照明で
省エネルギー化の
推進を



福祉有償運送は絶対に必要なのだが…

1化への対応が求められている。

町内に約二千基設置されている防犯灯の蛍光灯をLED照明に変更するとその消費電力は50%以上削減され、電気料金も現状と比較して年間約二百万円の節約となる。

この防犯灯LED化を各地区が整備しようとした場合には補助金・交付金の対象になるのか。

答

難波総務課長

防犯灯設置事業補助金交付要綱の修繕補助金に該当すると考

答

遠藤企画財政課長

協働のまちづくり事業分の交付金を活用することは可能である。

答

定本町長

予算も必要なのでさまざまな状況の変化に対応するため協議、検討の後に結論を出したい。

質問

地域交通運営協議会の設立を

協議会の設立を

含めて検討する

答弁

通や高齢者の移動手段に約一億円使っているのが現状。地域によっては道路事情も悪く、苦労は理解できる。すべての要望に応えることができない。

利用者の要望など確認し、先進地も参考に運営協議会の立ち上げを含めて移動手段の検討をしたい。

① 森林組合に作業員が5人、平均年齢は37才。森林組合の作業受託をする団体が旭地域に五団体ある。詳細については把握できていない。



岡田 壽 議員

問

地域で生活している高齢者・障がい者は買物、通院などの移動に苦勞し続けている。生活に支障のない移動手段の確保が必要である。

道路運送法上の制約もあるが、手始めに行政・運送業者・利用者・社会福祉協議会・学識経験者などで組織した地域交通の運営協議会を早急に立ち上げ、地域の実態を話し合い、よりよい移動手段の確保に向けて検討



みんなで考えよう！よりよい移動手段

答

鈴鹿情報交通課長 さくらバスや無料巡回バスなど地域交

すべきではないか。問題や運送業者との関連もある。地理的条件、生活圏、

林業の実態と今後の振興策は

問

山林面積は町土の70%、人工林等は36%、5500ヘクタール。外材の輸入も一因で木材価格は低迷、林業経営は困難を極めてい。作業員も減少、高齢化で林業の将来が危ぶまれる。

① 町内の山林作業を行う会社、作業員数と年齢構成は。
② 林業者の経営上の問題点を把握しているのか。
③ 本町の林業振興策は。

答

矢木産業観光課長
① 森林組合に作業員が5人、平均年齢は37才。森林組合の作業受託をする団体が旭地域に五団体ある。詳細については把握できていない。
② 問題点は、昭和55年のピーク時に比べ、桧が28%、杉が30%の価格で安値が続いていること。林業就業者の減少と高齢化で労働力も不足。造林、間伐の経費増大などが考えられる。
③ 県産材の利用促進や間伐、作業道の開設などに二千万円程度の予算で対応している。林業、木材産業の持続的発展を図る町指針を23年度中に定める予定である。

答

定本町長
農業公社が農業を担うように、林業は森林組合に行政として期待、協力したい。

質問

空き家を活用して
定住増加を図れ

活用に向けた

取り組みを強化

答弁



岩野正則 議員

問 空き家の調査を進めていたが、どのような結果がでているのか。

答 遠藤企画財政課長 平成21・22年度で全地区の空き家調査を実施した。中央地域52件、旭地域88件、柵原地域178件、合計318件の調査結果である。賃貸・売却の意思を示している人が10件あるため情報を商工会のホームページで公表している。

問 空き家を利用したての定住増加に向けた取り組みは行われているか。

答 定本町長 調査の結果を見てもわかるように、空き家の賃貸・売却を望む人が非常に少ない。今後状況の変化を見込みながら商工会のホームページで情報発信を続け、定住増加につなげていきたいと考えている。

問 老朽化した家屋に対する防犯、防火、倒壊防止、再活用など今後の取組みは。

答 定本町長 個人資産なので制限も多く難しいところもある。危険家屋な

どは地域で持ち主への説得など出来ないかと考える。

問 県・津山市・鏡野町・久米南町・商工会と連携して仕事探しなど田舎暮らしのフォローが出来ないか。本町の、窓口にも田舎暮らしのための支援強化が必要である。

答 定本町長 5月に2組の定住希望者があった。こういう人たちが大切にしたい。全力で支援しているように考えている。

ボランティア
休暇と資格取得の
推進を

問 東日本震災の被災地へ若者、企

業などから、被災地活動支援に参加したいとの声があがっている。本町の職員が被災地支援に参加する場合に特別有給休暇、宿泊費の支給などのボランティア支援ができないか。

答 定本町長 心身のケアも必要とのことで、県が各市町村へ呼びかけて、保健師などの被災地派遣を実施している。

答 難波総務課長 職員がボランティアに参加する場合は特別休暇の適用にはできない。

問 有害鳥獣駆除・介護福祉などの資格取得に対する支援体制は整っているか。

答 定本町長 有害鳥獣駆除の免許取得に対しては費用の半分となる約4万円を補助する。職員の取得にも期待している。



移住されたご家族（連石地内）

質問

国際交流事業

その後の進展は

ニュージーランドと

交渉中

答弁



貝阿彌幸善 議員

問 国際交流は、戦後は欧米中心の交流、一九七〇年〜一九八〇年代はアジア諸国との交流、現在は英語圏の豪州・ニュージーランド・カナダなどとの交流が多く行われている。

この3カ国はいずれもイギリスから独立し公用語は英語であること。国家は立憲君主制であり特にニュージーランドは島国で、国土も日本の3/4と比較的似通った感じで、教

育において留学生の受け入れも積極的である。国際交流により地域の文化、社会、歴史が持つ長所、魅力など地域の良さを再認識、住民の意識改革、広い視野を持ち新しい発想で地域の活性化が期待される事業である。

本町はどのように対応しているか。

答 定本町長

英語圏の中でニュージーランドに絞り、県の国際交流課に報告して現在交渉中である。

鉾山の町、ブドウづくりなど共通点がある。ニュージーランドも地震の多い国だが、北の島は比較的地震も

少なく、日本からも多く留学している。

近日中に先方の議会の判断がいただけるので、近々には報告できると思う。

問 今後国際交流事業を有意義に進めて行く上でも国際交流に係る人材を育成する必要はあるか。

の対応は。

答 定本町長

世界にはばたき元氣な美咲町づくりに、貢献できる子どもたちをつくることは大切である。

人材育成は必要であり前向きに進めて行く。



ニュージーランドってどんな国？

国では平成4〜5年頃より地方公務員の海外派遣プログラムを作成し、地域の国際化に対応できる地方公務員を養成している。本町

育兒支援など関心の高

補助金制度の

周知徹底は

問

本町には多くの補助制度がある。育兒支援など関心の高

い制度はかなり浸透できている。

住宅災害等土砂取り除きなどの各補助制度の周知徹底はできているのか。

答 遠藤企画財政課長

139件の補助制度がある。そのうち町民に直接関係あるものは61件あり、広報紙、チラシ、美咲町ホームページ、各課からの通知により周知を図っている。

変更が多くある補助事業は一覧表にする事が難しいが、子育て支援のようにパンフレットなどで一層の周知徹底を図りたい。

問

一年で変わるような制度は難しいが町民が納得できる行き届いた行政を。

答 定本町長

関心の高い事業などいろいろな制度のPR、広報宣伝を図り、攻めの行政を行っていく。

質問

新エネルギーの

具体策は

太陽光発電を中心に

答弁



小島洋征 議員

現在のソーラーパネル設置補助を拡大して、事業所にも助成する必要があるのではないか。

答 課長
現在の町の助成制度は、発電量1キロワットあたり四万円以上上限

答 定本町長
策定した新エネルギービジョンを、平成23年度中に、専門家も交えて詳細に検討する。

また、本庁舎をはじめとする公共施設にも太陽光発電設備を備えるべきではないか。

現行の補助制度の説明と併せて町の方針を聞きたい。

を十万円としている。平成21年度の助成実績は71件、22年度が55件である。

他に県の助成もあるが、新エネルギーの普及により、地域活性化も期待できるので普及推進に努めたい。

想定して対策を講じているとのことだが、今回の東日本の災害を見ると想定以上の災害が起こる可能性がある。町建設課としては、危険性のある地すべり、土砂崩れ地帯をどの程度把握しているか。

問 平成22年度に美咲町新エネルギービジョンが策定されたが、いささか具体性に欠けているように思う。

3月の東日本大震災による原子力発電所の事故をうけて、静岡県 の浜岡原発の操業停止 など国のエネルギー政策も大きく変わるものと予測される。

本町としては、太陽光発電と木質バイオマスを併用した地域エネルギーをつくっていくことのできるが、



住宅への太陽光パネルの設置はかなり増えてきたが…

災害危険箇所は把握できているか

問 東日本大震災をうけて、今議会では災害対策に関する質問が集中している。

急傾斜地の土砂崩れ、あるいは地すべり

答 池本建設課長
平成13年に土砂災害防止法が施行されて以来、順次調査を進め、危険箇所指定されたところは、概ね工事を完了している。

旭、中央地域は調査を完了し、柵原地域は調査中である。調査を進めるなかで工事が必要な場所は対応していきたい。

質問

公共施設で
原爆写真展の開催を

主催者で対応できれば
提供する

答弁



梁山朝子 議員

問

戦後66年を迎え、私たちは唯一の被爆国として原爆の恐ろしさを次世代に伝えていかなければならない。

全県下の自治体首長、議長がすみやかな核兵器廃絶を求める署名を行っている。

この時期に本町でも公共施設のロビーを利用して原爆写真展を開催できないか。

答

定本町長

それぞれの団体が主催して対応しても

答

定本町長

ち上げて専門家の意見を十分反映させるべきである。

三人の保育園長の意見も含めたプロジェクトで建設地を決定して、生後6カ月から入園できる体制をつくるための設計案を策定していく。これができた段階で専門家を含めた検討委員会を組織する。懸念されている諸問題は一つ一つ解決していく。

いつ立ち上げる

検討委員会

問

柵原地域の統合保育園建設に際して、

▽土地の嵩上げが必要

▽県道に直近している

▽文化センターとの間に町道がある

▽騒音防止対策をする

と閉塞感による情緒の発達に影響はないか

などの問題点が多く聞かれていて、

場所の決定も含めた検討委員会を早期に立

生涯学習には

センターが必要

星の里スポーツセンターが十分に活用できる生涯学習

センターの必要性が高まっていると思うが、

今後整備する予定は。

答

泉教育長

生涯学習センターの建設は将来的には考える時がくると思うが、現状では各地域の



いくつになっても勉強することは山ほどある

文化センター、公民館などの活用が望ましい。

水道企業団への負担金見直しは

岡山県広域水道企業団へは毎年多額の負担金を払っている。見直しはできないか。

答

赤堀上下水道課長

本町から岡山県

広域水道企業団へ支払う負担金は今年度で百三十八万円、出資金が百七十九万円、水購入費が一億四千万円。

最も高額となっている水購入費はこれまで一度も見直しがなされていないため、適正な価格にするべく今後提案していきたい。

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
7月12日に臨時会を開催し、議長に西野氏(津山市)、副議長に小阪氏(奈義町)を選出した。

二億四千三百三十七万円を減額する23年度組合会計第一次補正予算、消防指令センター指令設備購入契約、行政財産使用料徴収条例の制定、監査委員の選任(浦矢氏・鏡野町)など4議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎美作地区3消防本部消防通信指令を統括する美作地区消防指令センター指令設備を設置。24年4月から運用を開始する。購入先および契約金額(株)日立製作所
五億二千二百八十四万七千五百円

津山広域事務組合

(津山市、勝央、奈義・鏡野・久米南・美咲町)
7月12日に臨時会を開催し、議長に西野氏

(津山市)、副議長に植月氏(勝央町)を選出した。
監査委員の選任(林田氏・美咲町) 1議案を審議、全会一致で可決した。



真庭・津山・美作の消防通信を統括するため更新される美作地区消防指令センター

津山地区農業共済事務組合

(津山市、鏡野・久米南・美咲町)
7月12日に臨時会を開催し、議長に森岡氏(津山市)、副議長に沖田氏(鏡野町)を選出した。

家畜共済掛金率の変更に伴う条例一部改正を専決処分した1議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井英田火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
7月19日に臨時会を開催し、監査委員の選任(萬代氏・美作市) 1議案を審議、全会一致で可決した。

町村議会議員研修会

7月4日、岡山県町村議会議長会が主催する町村議会議員研修会が岡山市の岡山県市町村振興センターで開催された。

今回の議題は、
○京都大学の岡田知弘教授を講師に迎えた

▽いま、どのように地域再生を進めたいのか、基礎自治体と議会の役割

○防災コンサルタント・ヤルデア研究所の伊藤義高所長を講師に迎えた

▽地震・防災対策の考え方と進め方
地方にとって大きく影響してくる二つの課題に対して、美咲町のまちづくりにかを考えるための貴重な研修となった。

議会を傍聴して

6月定例会の一般質問（6月14日、15日）には大勢の方が議場まで傍聴に来られ、気付かれたことについてご意見をお伺いしました。

皆さまからのご意見をお伺いしたいので、是非傍聴においで下さい。

町内のきめ細かい質問に對して安心しました。議員の皆さんどうぞ今後ともしつかり頑張ってください。それから、質問の調整をしたほうがいいと思います。

八十代 女性

言われていることが聞き取りにくかった。防犯灯は私たちのところは地区で連絡しておけば換えてもらえる。流通備蓄はしていて、期限が切れるようならキャンペーン等を使い、また備蓄したらいいと思う。

六十代 女性

議員さんの質問が重複していて時間がかかりすぎた。答弁者の方々も、もつと簡単にわかりやすくしてほしいと思う。みさきネットについては、課長の説明が大変よくわかった。

七十代 女性

聞き取りにくいところもありましたが、質問

や回答がよくわからな
い。マイクが遠いのか。
今日の質問応答は四人
目の人がとてもわかり
やすかったかも。

七十代 女性

くお願いします。

六十代 女性

自分の年のせいかな聞き取りにくく、意味がよくわからないところがあり疲れました。皆さん



議会の傍聴にこられた柵原ふれあい学級の皆さん

話していることが聞きにくいように思った。いろいろと大変でしようが、美咲町がよくなるよう今後ともよろし

七十代 女性

んの質問が重なっているの、事前に調整できれば聞きやすかったような気がします。

質問者、答弁者の発音がはっきりしなかった。議員の質問に答えられた情報交通課長が明確でとてもよくわかりました。私たちも、みさきネット利用料千円が高く、五百円ぐらいが適当かと思つていましたが、答弁者の説明でよくわかりました。

七十代 女性

前回も感じましたが、似たような質問、ぼそぼそとした質問・回答が多くてよく聞き取れませんでした。私の耳が悪いのでしょうか。今までのアンケートは役に立ちましたか。

七十代 女性

町内のあらゆる意見を聞き調査され、質問されていることがよくわかりました。今後とも町のために活躍くださいますようお願いいたします。質問内容が重なるようなら調整することではできませんか。

五十代 女性

編集後記

今年3月に発生した東日本大震災は、私たちの「くに」のすべての分野に激震を走らせました。政治・経済はもとより、人が生きるこのの意味も含めて価値の総点検を促しているようにも思われます。

しかし、国の政治は混迷を深めています。政治がその存在理由を問われているといつても過言ではありません。

美咲町議会では、議会改革特別委員会を設置して議会のあり方について議論しています。

その内容を議会だよりでお知らせしていきます。是非ご一読頂いて皆さんのご意見をお寄せください。(小島記)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 松田 英二
- 副委員長 小島 洋征
- 岩野 正則
- 金谷 高子
- 草苅 良明
- 松島 啓